

日 時：平成 28 年 10 月 13 日（木）18 時 30 分 ～19 時 43 分

場 所：日沼地区コミュニティ施設

対象地区：日沼

参加人数：11 名

■意見交換

内 容
<p>○コミュニティ施設への AED 設置について (市民からの要望、質問) 集会施設への AED 設置について行われているのかを聞きたい。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現在、コンビニエンスストアに AED を設置している。各町会に会館はあるが、普段開いているわけではないので、緊急時に使用できないのではないかという話になった。</li><li>・AED については市内の 8 つのコンビニに設置しているほか、公共施設の全てに設置している。しかし、とても維持管理費がかかり、バッテリーなどは 1 年半しか持たない。一つ一つに設置するとなると、市内に 50 施設ある集会施設への設置は難しい。</li><li>・日沼地区の場合は、コンビニに設置しているので、そちらを利用してほしい。</li></ul> <p>(市民からの要望、質問) 会館に必要なのは、使い方が分からないという人がいるからで、施設に設置し、施設を利用する団体に対して年 1 回の研修会を開くことにより、AED の真価が発揮されるのではないかと思う。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・すぐ使うことのできる状況であれば設置しても良いと考えるが、夜間などは会館を施錠するため、AED の性質になじまないのではないかと思う。</li><li>・講習会については、消防署で対応してもらえ。</li></ul> <p>(市民からの要望、質問) では、市として設置の意思はないのか。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現在、その予定はない。</li></ul>
<p>○排水路へのフェンス設置について (市民からの要望、質問) ローソン尾上町店の横に 3 方向に流れている大きな排水路があるが、むき出しであるので、子どもや高齢者が落ちたら大事になると思う。12、3m で良いので、フェンスを設置</p>

してほしい。

(市の回答)

- ・平成 29 年度の町会要望があったところで、農林課において対応を確認中であった。行政委員連絡協議会で回答させていただく。

○子どもの医療費助成について

(市民からの要望、質問)

長期総合プランで子ども・子育て支援が一番に出ている。聞くと、保育所は第 2 子以降無料化としているとのことで、感謝している。

家に未熟児がいるのだが、子どもの医療費助成について、所得制限があるため該当しないとのことであった。所得の上限を調べると、黒石市では無料に該当するようなので、近隣の市町村と比べてどうなのか聞きたい。

(市の回答)

- ・子どもの医療費助成について、県の基準に沿っている。未就学児は所得制限があるが、医療費を無料としていた。小学生から中学生については入院のみ 1 日 500 円の負担で後で請求して頂く形になっていた。他市町村と比べると、子どもの医療費助成は各市町村で競って拡大してきているが、平川市は中間くらいである。
- ・所得制限にかかる人については、新年度の予算編成の中で拡大していきたいと考えている。
- ・子ども第 2 子以降保育料無料化など、住みやすい地域とするようにしてきた。医療費は今年から入院を 500 円の負担のみとしている。所得制限を含め、財源などの確保を考えながらやっていきたいと考えている。
- ・所得制限は黒石市と差がないようにしていきたいと思う。本来は自治体の財政格差によって異なることは良くないが、出てきざるをえないのが現状である。少なくとも子育てや保育、医療費、教育など、子育てしやすいことをアピールしていくために変えていくことは変えていきたい。

○農地の有効活用について

(市民からの要望、質問)

平川市は人口を増加させ、住みやすい、住みたいまちづくりにするとうたっている。農地の有効活用について、他では転作などで農業所得の向上をしているが、平川市はそこまで取り組んでいないと思う。外から定住を目指すとなれば、弘前市のベッドタウンとしてとてもいいと思うので、農業振興地域を除外して住む土地を用意していくのが良いと思う。旧尾上町時代にも金屋地区であったぐらいで、今やっと八幡崎地区の小学校近くまで宅地化できるようになってきたが、それについて市の方策を聞かせてほしい。

(市の回答)

- ・農地の有効利用については青森県の中でも気候に恵まれていることもあり、平場は米、

山手はりんごとしてきたが、今は稲作農家にとって厳しい状況である。転作はどんどん進めていくこととしており、県南では減反政策を進めて畑作をした結果、県南の方が津軽地域よりも収入が増えてきている。

- これからは作物の転換を図り、畑作などの別作物の転換を通じて収入を増やしていくようにしたい。今は桃など栽培している例もあるので進めていきたい。
- 平川市は優良農地であるため、農振除外を目指すのは難しい。しかし、市街化調整区域は平川二期の受益地であり、国、県と交渉して緩和区域を指定できるようになった。開発できるように規制を緩めてもらっているので、どこでもということにはならないが、進めていっている。

(市民からの要望、質問)

市街化区域が指定され、その開発が進んでいない場合の見直しの制度があったと思うが、開発など今の進捗はどうか。

(市の回答)

- 市街化区域の開発が進んでいないところを減少させるということか。

(市民からの要望、質問)

以前みなみの団地で開発できない所を外し、別なところに割り当てたことがあった。

(市の回答)

- 市街化区域は人口増える見込みが無ければ増やすことが出来ない。今まで市街化区域であった所で使う見込みがない場合に他の場所に市街化区域を割り当てることが出来るかは調べてみたい。

(市民からの要望、質問)

人口を増やすために宅地を提供するという事ではないかと思う。土地が無ければ人口が増えないのではないか。

(市の回答)

- 今ある市街化区域を使ってほしいと言われてしまう。

○市議会中継について

(市民からの要望、質問)

市議会のインターネットライブ中継で広告が出るが、消せるのか。

(市の回答)

- 広告が入らない正規のものにすると高額になることから、広告入りのものとなった。

○長期総合プランについて

(市民からの要望、質問)

長期総合プランの 34 ページの「豊かにくらす居住環境の確保」の文章で「また、住宅ストックが有効に活用されるよう」とあり、住宅ストックについて表記があるが、住宅ストックというのはそんなにあるのか。

(市の回答)

- ・空家対策も含めたもので、その有効活用も含めて住宅ストックと呼んでいる。
- ・空家調査を現在進めており、どれだけ使うことができる住宅があるのか調べている。空家の数は平成 24 年の調査時には 423 件であったが、今は 1,400 件を超えている。その中で貸すことが出来る空家があり、使いたい人があれば、リフォーム費用を補助するなど考えている。

○市指定ごみ袋について

(市民からの要望、質問)

ごみ袋について、町会名と名前を書くようになっている。しかし、名前を書かせることをやめる自治体があるようである。名前の表示について伺いたい。

(市の回答)

- ・名前を書くのは、ごみ袋に入れられないものを入れ、収集できない時に困るので書いてもらっている。
- ・青森市では袋に入れれば持って行っているようだが、リサイクルを進める中でリサイクルできるものが袋に入っていると困ってしまう。ごみを出す人が責任を持つという意味でも必要ではないか。
- ・他の自治体の人が集積所に持ってくることもあると考えられるので、面倒でも町会名と名前の表示はあった方が良く考えている。

(市民からの要望、質問)

ごみ処分料は量によって払うのか。

(市の回答)

- ・尾上地域は黒石の清掃工場へ、平賀・碓ヶ関は弘前の清掃工場に持って行っている。

(市民からの要望、質問)

弘前市では置けば何でも回収してくれるので楽である。

(市の回答)

- ・弘前市は最初分別をしていたが、途中でやめたようだ。

(市民からの要望、質問)

地域によりごみを出す曜日は定められているが、定められた曜日以外に地域外の方がごみを置いていくのはどうなのか。平川市民であれば定められた曜日に捨てることは制度的に許容されるものなのか。

(市の回答)

- ・規格に従い、ごみ袋に名前などが書かれており、曜日がきちんとしていけば持って行く。しかし、好ましいものではない。

(市民からの要望、質問)

他地区の人が通り道なので持ってくる。

(市の回答)

- ・以前、監視カメラを設置したこともある。

(市民からの要望、質問)

しかし、名前も書かずに置いて行ってしまう。

(市の回答)

- ・町会によっては内容物を調べている所がある。ある町会では電話が来ることもある。

(市民からの要望、質問)

内容物を見ることは良いのか。

(市の回答)

- ・不燃ごみであれば袋が透明なので見える。スプレー缶やライターなどは危険であるので、見ていると思う。
- ・収集車の人がごみを見て、回収できないものは置いていく場合もある。
- ・悪質であれば袋の中身を出してごみを出した人を特定できるものを探すこともある。しかし、基本にごみの中身はその人の生活形態などプライバシーが絡んでくるので、外から見て確認する。

○空家の貸し出しについて

(市民からの要望、質問)

空家対策で空家を貸し出し、その家賃を無料にするなどの助成は考えているのか。

(市の回答)

- ・実態調査をしており、10～15年持ちそうな空家、リフォームすれば使える空家を見ている。その中で利活用できる空家については所有者に聞いて、譲渡して良いかなどを聞く。

- ・移住促進など進めているので、県外から平川市に引っ越したい人が空家を使いたいという場合、助成などを検討したい。
- ・これから弘前の定住自立圏の中で、平川市だけでなく弘前市を含んだ広域でやっていく話もある。また、権利関係や土地、家屋などで複雑に絡んでくるので、司法書士などに入ってもらいながら、利子補給などが可能か検討していくことになる。
- ・人口減少の対策としていくためにも、制度として作っていきたい。

○大相撲平川場所について

(市民からの要望、質問)

8月17日に大相撲平川場所を見に行ったが、テレビで見るよりもずいぶん良いと思った。人数などについて教えてほしい。

(市の回答)

- ・資料を持ち合わせていないので大まかなことしか申し上げられないが、人数は約3,000人で、マス席など有料で入ったのが2,500人、そのほか、関係者やちびっこ相撲参加者や父兄が含まれる。

(市民からの要望、質問)

とてもよかったと思う。十両と幕内は全く違って見えて、大変楽しく見させてもらった。

(市の回答)

- ・10周年の目玉事業として去年検討したが、今年が10周年であること、準備期間を設けることができるとのことで今年実施した。良かったという声を多く聞いており、やって良かったと思っている。